

令和6年度第2回 協力病院連絡会議(報告)

日時:令和6年12月10日(火)
16:00-17:15 Zoom 会議

出席者:清水卒後臨床研修センター長
森医学教育部門長
上條臨床研修部門長

参加者:教育協力病院および臨床研修関連の29病院

森医学教育部門長が進行を担当した。



1. 令和6年度「150通りの選択肢からなる参加型臨床実習」受入と実績・・・資料No.1

資料に基づき、学生の人数が例年と比較少なめということもあるが、各協力病院に配慮いただき多くの学生を配属するように設定していること、次年度の150通りコースの作成の際には、多くの新たな診療科を組み込めるように検討する旨説明があった。

2. クリニカルクラークシップⅡにおける担当症例数について・・・資料No.2

資料に基づき、第2タームまでの症例数を示したもので、学生の実情の踏まえ入院・外来を含め1ヶ月あたり3症例程度の担当患者となるよう、学生に経験させていただきたい旨依頼があった。

3. 150通り実習 第1-第2タームの学生の感想について・・・資料No.3

資料に基づき説明があった。例年通り第1-3タームまでの感想を集計した資料を改めて案内させていただくこと、意欲的な学生の意見について今後の実習に役立てていただくよう説明があった。

4. 2024-2025年度 クリニカルクラークシップⅡ 第1～2ターム 患者さんからの意見・・・資料No.4

資料に基づき説明があった。今年度から導入しており、担当患者がいた場合に学生が依頼する資料としており、学生へのフィードバックを行っているため、患者さんの事情を踏まえて可能な限り協力をお願いしたい旨説明があった。また、来年度以降は今年度の実績を踏まえて、依頼方法などの改善を図っていくため、意見をいただきたい旨依頼があった。

5. その他

臨床実習の評価関連資料が、紙媒体のものが多いため各協力病院より電子化ができないかという声が多く寄せられていることから、令和8年度に向けてcc-epocの導入を検討している旨報告があった。

本会議に引き続き卒後臨床研修管理委員会を開催した後、参加した全病院からコメントをいただいた。挙げられた意見要望は以下の通り。

【各病院からのコメントが下記に記載】

- ・第1～3タームで計3名の学生を受け入れた。学生にとって、訪問診療等は新鮮な感じがしているように見られた。定員を増やして学生を送っていただきたい。
- ・150通りで、各タームで学生に来ていただいている。学生は熱心に実習している。学生の満足度が上がるような取り組みをしていきたい。
- ・学生が体調を崩して休む際は、事務担当者に連絡を入れるよう指導していただきたい。
- ・「患者さんからの意見」について、病院と患者という関係性から、適切な評価を行うことができるか心配がある。
- ・2年目の研修医を配属いただき、順調に研修できている。また、来年は1年目の研修医を配属される予定。しっかり指導していきたい。
- ・学生・研修医・専攻医にかかわらず報告・連絡・相談が緩い気がする。例えば、先日研修医が休む時に研修科や上級医に連絡せず、同期の研修医にLINEでの連絡で済ませていることがあり、少し心配している。また、PG-EPOCの入力が進まないことも悩み。

- ・大変多くの学生に、実習に来ていただいている。その中で訪問診療や在宅医療について興味があったと学生から評価をいただいているので、それを主に取り入れていきたい。
- ・学生の実習について、今年度から通いで来ていただいているが、通いが大変との意見があり、今後宿泊について検討していきたい。
- ・2年目のたすきがけの先生と当院の基幹型の1年目の先生とお互いがよく話し合っていて、双方に良い研修になっている。
- ・学生実習について、一人になることが多いため、なるべく複数名で送っていただきたい。
- ・学生はまじめに実習に取り組んでいる。2年目のたすきがけの先生については、EPOC の入力を積極的にフォローしてきたいと思う。
- ・150通りの学生のアクティビティが高く、教える側の満足度も高くなっている。
- ・連絡に甘いところがあることについては、2年くらい前から感じていて、実習のオリエンテーション時に「報連相」が大事と指導している。
- ・実習に来る学生は非常にまじめな方が多く、当院の研修医も大変刺激をもらっていると伺っている。
- ・積極性の高い学生が増えてきた印象。連絡については少しルーズな所が見られる。研修医についてはマッチングに苦労している。
- ・臨床実習で13名の学生が来ている。他大学の学生さんと切磋琢磨し順調に実習が進められている。
- ・会議通知が遅く、もう少し早ければ責任者も立ち会えたので、連絡を早くいただきたい。
- ・150通りで学生に来ていただいて、当院の1年目、2年目の研修医と屋根瓦式を形成して非常に良い研修になっており感謝している。
- ・当院はリハビリテーション病院なので学生にリハビリの重要性を学んでいただきたい。また、ボトックス、ほっとリハ、TMS 等リハビリの進化した部分も見ていただきたい。
- ・老人保健施設にも興味を持っていただける学生が増えてきている印象がある。
- ・来年度、地域医療の派遣について信大から協力病院に多く派遣されると伺っているがどのような状況か教えて頂きたい。

まだ未確定だが、来年度信大で一般外来研修を今までどおり行えない可能性があり、対応しているところ。そのため、卒後臨床研修センターから各病院に一般外来研修を協力病院で実施させていただけないか打診をしている。今後、地域医療研修に一般外来研修を加えて研修をさせて頂くことをお願いする可能性がある。未確定なことが多く、状況が確定したらまたご相談させていただきたい。

清水卒後臨床研修センター長の閉会の挨拶を以って閉会した。

以上